



プラスセーフ  
「千葉県小売業 + SAFE 協議会」 共同宣言  
～ 従業員の幸せのための安全アクション ～

働き方改革関連法の施行から3年が経過し、職場環境整備への理解が進んできているものの、労働安全衛生の状況を見ると、人生100年時代を迎えた高齢化の進展、産業構造の変化、働き方の多様化などを背景として、転倒・腰痛災害は多発している。

小売業の労働災害は増加傾向にあり、中でも転倒による死傷者数は2017年の174人から2021年の263人と1.5倍に増大し、1か月以上の休業を必要とする方が約6割に上っており、この状況に歯止めをかけることが喫緊の課題となっている。

企業においては、人的資本への投資が重要であるという認識が広まっている一方で、日常生活でも起こりうる転倒・腰痛災害等については、その防止に取り組むメリット・デメリットが分かり難く、企業や労働者の行動変容につながらない状況も見られる。

このような現状を打破するため、企業の壁を越えた「千葉県小売業 + SAFE 協議会」を新たに立ち上げ、労働災害防止に向けた機運の醸成を図り、魅力ある小売業となるよう、以下の事項について構成企業間で協力・情報共有を図り、共通する課題に取り組んでいくことを宣言する。

#### 1 知恵と情報をつなげるための取組

本協議会の構成企業は、各々の労働災害の発生状況や職場環境状況を把握し、構成企業間で必要な情報を共有するとともに、問題解決のための知恵を出し合い、有益な情報を県内企業に発信できるよう、積極的な提供に努める。

#### 2 あらゆる側面からのアプローチ

労働力の高齢化以外にも様々な背景要因により、現在の労働安全衛生施策の枠組では労働災害を減少に転じさせられていないことから、本協議会によって企業による自主的な取組を求めるだけでなく、「あらゆる側面からのアプローチ」として、幅広い関係者(企業、団体、行政機関等)の意見を求めていくこととする。また、必要に応じて、これら関係者の参画も求めていくこととする。

令和4年7月27日

### 千葉県小売業 + SAFE 協議会

- ・イオンリテール株式会社 (千葉市)
- ・株式会社京成ストア (市川市)
- ・株式会社せんだう (市原市)
- ・株式会社ランドロームジャパン (船橋市)
- ・株式会社ワイズマート (浦安市)
- ・千葉労働局
- ・独立行政法人労働者健康安全機構 千葉産業保健総合支援センター(アドバザ-)